

○奈良教育長 教育委員会協議会を開会いたします。

まず、委員それぞれの活動について、所感などを報告したいと思います。

それでは、私から報告をさせていただきます。

4月18日に、小学校6年生と中学校3年生が対象となる全国学力・学習状況調査、いわゆる全国学テが一斉に全国各地で実施をされました。全国学テの調査結果は、例年8月末に文部科学省から各学校に送られてきます。各学校では直ちにその結果の集約や分析を行い、課題解決に向けた取り組みを展開していくことになっています。しかしながら、いくら結果分析を急いでも、課題の解決に向けた取り組みの開始は、早くても10月頃になっています。取り組みの開始時期が遅くなることで、問題解決、課題解決に向けた取り組みの時間が十分確保できず、学力課題を抱えた児童・生徒への対応も不十分になっている傾向があります。

大阪府下の一部の先進的な取り組みを実施している学校では、全ての子どもたちの回答用紙を全国学テが実施されたその日のうちにコピーして、自校で採点するとともに、採点結果を直ちに集約して結果分析を行っています。このように自校採点することで、課題に正対した取り組みがどこよりも早く実施できています。これにより、これまでなら10月から開始をしていた取り組みが5月からできるようになっています。学力向上が本市の喫緊の課題であるということから、今年度はこの一部先進校で施行されていたこの取り組みを、市内の全ての小中学校で実践いたします。

さらに、全国学テに対する教員の関心を高めるため、各学校内で全教員が学テの問題を解く時間を設定し、全国学テで出題された問題を教師間で共有することとしています。

これらの取り組みによりまして、今、国が求めている学力観に基づいたテスト問題を教員間で共有するとともに、子どもたちにその問題が解ける力をつける授業はどうあるべきかなど、授業改善への教員の意識が高まるものと期待をしています。このような取り組みは一部の先進校では既実践されていますが、市を挙げて全ての小中学校で自校採点や全ての教員が一堂に会して、学テの問題を解く取り組みをしている市町村は府下にはありません。したがって、本市の取り組みが注目をされております。

また、学力向上の一丁目一番地は、教員の授業力の向上と授業改善であることから、小学校では放課後に学年会で、中学校では時間割内に教科会を設置し、いずれも授業づくりに特化した取り組みをその時間に行うこととしています。

次に、香里ヶ丘図書館についてであります。4月4日に老朽化が著しい香里ヶ丘図書館を建替えるため、設計事業者をプロポーザル方式で選定することになっております。香里ヶ丘図書館で選定委員会が開催され、伏見市長から選定審査会会長に諮問書の手交が行われました。選定委員会では募集要項（案）や評価基準（案）等について審議がなされ、4月14日から審議された内容で公募の手続を行っています。8月には事業者を選定できる見込みでございます。

次に、友好都市、高知県四万十市の中村高校が40年ぶりに春の全国高等学校野球大会に出場しました。四万十市とこれまでから交流のある常翔啓光学園吹奏楽部が、甲子園球場で約5,000人の応援団とともに選手たちを応援しました。残念ながら、中村高校は1回戦で敗退いたしました。大応援団には応援団最優秀賞が贈られています。

次に、市内全64小中学校の学校図書館システムですが、4月から稼動しています。児童・生徒がパソコンを使い、自分で図書を貸し出し、返却できることになりました。また、教員用のパソコン端末では、市立図書館の蔵書を約127万冊と、他校の蔵書も検索できます。

先日、広報課が生徒や先生たちがパソコンを使って本を探したり、貸し出し手続をする様子取材をしておりましたが、どの児童・生徒も興味津々で楽しそうに図書の貸し出し、返却作業をしておりました。

私からは以上です。

次に、神田委員、報告お願いいたします。

○神田委員 このたび3月の議会におきまして、教育委員会委員のご同意をいただきまして、委員を続けさせていただくことになりました。これからは奈良教育長のもと、教育委員会が一体となって施策の推進ができるように、誠心誠意取り組む所存でございます。よろしくをお願いいたします。

昨年、委員になりましてから、1年間、できるだけ教育現場や社会教育施設等を訪問したいと思っております。学校訪問に際しましては、授業参観や校長先生との懇談等をして、その状況把握に努めてまいりました。また野外活動センター、社会教育施設、また図書館などの施設を見る機会をいただきまして、教育行政に活かせることができたと思っております。今後も同様によりしくお願いしたいと思っております。

3月は卒業式、卒園式、4月は入学式、入園式に出席しました。厳粛な中にも心温まる式でありました。特に卒業式、卒園式では、校長先生や園長先生の式辞に感銘を受けました。その一部を紹介をしたいと思います。

枚方幼稚園では、倉増園長は式辞を全て暗記されていまして、園児や保護者の顔を見て話されていまして驚くとともに、温かな眼差しがとても印象的でした。

平野小学校では、小川校長の、夢を持ち続けることの大切さをオリンピックの4連覇を果たした伊調馨選手の話のわかりやすく話されていたことも大変よかったと思っております。

第四中学校では、岩谷校長が、どうやったら自分に秘められている可能性を最大限生かし、引き出し、発揮することができるのかということ、ソフトバンク社長の孫正義氏の生い立ちから話されていまして、孫氏は、苦しい生活の少年時代、成績の良さは群を抜いていて、父親から「ひょっとするとお前は天才じゃないか」と、常に褒められていたということです。そうしたら孫氏も、「ひょっとしたら俺は天才なのかもしれない」と思うようになったということです。高校を中退してアメリカに留学して、猛勉強して大学に入学するんですけども、入学するまでの苦労話もわかりやすく話されておりました。大学に入ってから教授の協力を得て、音声機能付き電子翻訳機を開発して、日本のメーカーと1億円で契約しました。もう3年前になりますが、ソフトバンクは連結決算で営業利益は1兆円を超えて、裸一貫から始めてわずか30年で巨大なNTTドコモを抜きました。岩谷校長はずっとお話しされておまして、最後に、一人一人に大きな力と無限の可能性のあることを力強く語られて、生徒も真剣に耳を傾けていました。

私は、この15歳の巣立ちにふさわしい式辞で、本当に感銘を受けましたので、その一部を紹介しました。

話は変わりますが、教育委員会は昨年6月、枚方市教育大綱を踏まえて、枚方市教育振興基本計画を策定されたことはご存知だと思います。ここには中長期的な目標の設定と、その目標を実現するための取り組みの基本的な方向性として10の基本方策が策定されているわけです。そのことを踏まえ、昨年度からこの主要事業と関連を図りながら事業を実施していただいて、教育に関する事務の点検及び評価を行っているところであると思います。

この枚方市教育振興基本計画、そして主要事業、事務の点検及び評価というように、よく言われているPlan、Do、Checkですね。この流れで枚方市の教育を進めていくことは大変有意義なことと思っております。

本計画は、皆さんご存知のように、平成28年度から39年度までの12年間の計画期間です。概ね4年を目途に取り組みの検証・評価を行い、見直しということになっております。計画期間ということから、毎年主要事業の点検・評価の見直しをすることになるということですが、平成28年度、今行っている点検及び評価をできるだけ迅速に生かすようにしていただきたいと思っております。

昨年度末、事務局から今年度予算の色々なご説明をいただいて、私なりにいただいた資料から読み取りますと、当初予算は約120億円が教育委員会の予算だと思います。その中で臨時的予算額は約45億7,000万円となると思います。

管理部は、この基本方策の8. 学びを支える教育環境の充実で、学校園施設設備や整備などハード面の充実等で、約17億円、それから社会教育部は、基本方策9と10で、約14億円になろうかと思っております。図書館の充実、文化・歴史・スポーツなど、幅広い分野で市民が親しめる環境づくりの推進をいただいていると思っております。学校教育部は、基本方策1から7までで、約13億3,000万円で、非常に多岐に渡っていると思っております。校園長会でも話をしましたが、その中でも基本方策1の予算は約5億7,000万円、基本方策7の生徒指導充実、不登校等の予算、これはほかにもありますが、基本方策7はこの部分では中学校が主で1億1,000万円ということで、その両方で7億円超えるわけですが、教育活動の両輪である学習指導と生徒指導に非常に直接的な経費を使っているということになりますので、これが有効に、より活用できるようにしていただきたいと思っております。

学校教育部では、今年度、本基本計画に合わせて、学校園の管理運営に関する指針を大きく改定され、またリーフレットも作成されたので、何校かの学校から、枚方市の目指す教育のビジョンがわかりやすくなった。学校の取り組むことが明確になったということも聞いております。

昨年度、教育長が校長会等と言われていた、枚方市の子どもたちの確かな学力の向上の取り組みの第一歩を踏み出したと私は思っています。

今年度は、研究指定校を中心に、その具現化のために、学校教育部の各課が見える形で連携して、学校を指導・助言してもらいたいと思っております。指導主事等が学校に直接的な指導・助言に入ることによって、指導主事の力量や育成も図れると思っております。また、授業等の中身がよく見えてくると思っております。その意味で、今年度はその真価が問われる年度だと思っております。

主要施策の実施に伴う経費を様々な角度から検討されて、先ほど申したような予算額が編成されたと思っております。平成28年度の主要事業の点検・評価を踏まえて、必要に応じて修正・変更をし

ていただいて、30年度からになると思いますが、29年度に修正できるものは修正していただいて、効果的に予算が活用できたと思っています。教育行政への期待は大きく、求められることも多様化しており、大変ご苦勞も多いと思いますが、子どもたちや保護者、市民の方々のためによりしく願いいたしまして、年度初めの所感といたします。

○奈良教育長 ありがとうございます。

続いて、吉村委員、ご報告をお願いします。

○吉村委員 いよいよ今年もこの時期が来ました。おかえりなさいと言われている皆さん、それから初めましてという皆さんと、またこの枚方市の教育委員会の中で一緒にお仕事ができるという、回数は4回になりますが、年度からすると初めてですので、また気持ちも新たに思っております。振り返ってみると、この教育委員会の委員としては、私が一番古いということになりました。入った時は全くそういう気持ちもなかったんですけども、こういう歴史の流れの中で、いろいろな人との出会い、あるいは別れ、あるいは様々な教育委員会の出来事、その都度その都度、自分自身が考える、思うことをずっと述べさせていただき、また今年も気持ちを新たにしていきたいと思っております。枚方市の70周年という一つの節目の年ということも意識をしながら、やはり子どもたちのためにもしっかりと関わっていけたらと思っております。

卒業式、入学式、それから吹奏楽のフェスティバルというのも3月20日にありまして、多くのスポーツや文化に関わることを教育委員会としてもしっかりサポートしながらやってると思っています。

卒業式、入学式の中で、香里幼稚園に行かせていただいた時に、国歌斉唱、それから園歌があり、その間に枚方市歌を子どもたちが大きい声で歌っているという姿を見ました。なかなか全校的には市歌を歌うということは少ないと思うんですけども、日頃から枚方市という郷土を愛するということが子どもたちの中に残すため、取り組みをご検討いただけたらと思っています。

枚方市に関しての大きなテーマで、子どもが笑顔になる、この笑顔を守っていくということはやはり大きな使命だと思っております。その笑顔を守るという考え方は様々なあると思っております。子どもたちが居場所としての学校もしくは園に行って楽しい、あるいは自分が成長できると思えるということ。もちろん勉強もそうですが、仲間と一緒に活動できるという、そういう安心した心地のいい場所という形を全ての子どもたちが持てるように、そのための条件整備は環境面もありますし、ソフト面での教員としての資質、あるいは話を聞くということもあろうかと思っております。ここをぜひ大切にしていきたいと思っております。教育行政の中で皆さんは新たにまた1年のスタートをされてるわけですが、すぐ迷う時や苦しい時にどうしたらいいか自分も考えるんですが、そういう時は原点に戻ってどうしたらいいかを考えていくということはずごく大切なことだと思っております。もう一つは、迷った時は後悔しない方法を選ぶ。後悔しない方法というのは様々な考え方があります。私が思うのは、やる後悔とやらぬ後悔という言葉をご存知だと思いますが、後悔するならやってみて後悔しようじゃないかということの日頃から考えています。やらないうちに何か時間が過ぎてしまって終わってしまった場合、やっぱりやったらよかったという後悔というのは、おそらくすぐ大きい後悔になってくると思っています。なので、もし二者択一でどちらにしようかという時は、やってみた結果だめだった場合、それからどう考えるかというよ

うに、ポジティブに考えていくということはずごく大事なことだということをお考えいただきましたらありがたいと思います。

最後に、枚方市の子どもたちがスポーツや文化に様々な行事を通して取り組みをたくさんされています。日々の教育活動、学校における、園における教育活動以外にもありますが、様々な形で情報発信をされているんですけれども、もう少しもっと子どもたちに歓迎されるような情報発信の方法を広く一般市民の方や保護者の方々に発信していくことはずごく大事なことになると思っておりますので、ぜひとも今年は行事をより効果的に広く皆さんに知ってもらって、より応援をしてもらえるための戦略といたしますか、全ての教育に関わる人たちが次の効果、さらに子どもたちに返るといふ原点といたしますか、それを頑張ってもらいたいと考えております。

私からは以上です。ありがとうございました。

○奈良教育長 ありがとうございます。

続いて、橋野委員、お願いいたします。

○橋野委員 教育委員として2年目を迎えます橋野です。本年度もどうぞよろしく申し上げます。

所感、活動としましては、3月14日に、教育委員として初めて中宮中学校の卒業式に参列させていただきました。卒業生の答辞、歌とは別に、前日に決まったというサプライズのレミオロメンの3月9日の歌を小さな歌詞カードを持ってみんなで熱唱してくれ、先生たち、保護者への感謝の気持ちを自分たちの言葉で素直に伝えてくれました。とても感動的で素晴らしい、いい式でした。

16日には、樟葉北小学校の卒業式で卒業証書授与の時に、校長先生の一人一人に対する温かい笑顔、言葉がけをされたのがとても感動的で、校長先生の子どもたちに対する愛情が伝わってきました。

22日は、蹉跎幼稚園の卒園式で、毎日一緒にいたお友達や先生方と初めてお別れするという気持ちをどう表現していいかわからず、そわそわする子、おろおろする子、変な咳払いでごまかしている子、保護者が泣いていることに不安になっている子、泣いている女の子に優しく手を差し伸べる子がいました。手を差し伸べた男の子も本当は泣きたいのに涙をこらえていました。式が終わり、卒園児が体育館から出ると、外からわんわん泣いている子どもたちの声が響き渡りました。これからたくさんの別れの時が来るでしょう。でもまた新しい出会いをたくさんつくってほしいと思いました。

そして4月に入り、津田南小学校の入学式、177名もの新1年生で6クラスと多く、子どもたちは幼稚園や保育園の時とは違い、少し凛々しい顔で式に参加していました。

4月7日は桜丘中学校の入学式へ、10日は香里幼稚園の入園式へ行かせていただきました。

前後しますが、3月15日、17日には、学校図書館で司書の方が入っておられる渚西中学校に、図書館利用について学校訪問させていただきました。昨年4月とは違い、とてもきれいで風通しの良く、見やすい本のディスプレイが、司書の方の本に対するアピールがとても上手で、いつでもその空間にいたくなるような雰囲気図書室になっていました。2月までに394冊、3月はさらに500冊以上を考えておられました。新しい雰囲気での子どもたちに合う、見やすくきれいな図書館になっていました。今年の図書委員の子どもたちがとてもよく頑張ってくれたと話され

ていました。司書の方は子どもたちのリクエストのために、2月までは少し蔵書を抑えておられたのですが、3月には300冊以上の購入を考えておられました。子どもたちが気軽に立ち寄り、調べ学習のできる空間であってほしいと思いました。

3月20日は、中学校の吹奏楽部フェスティバルで、どの学校もこのフェスティバルに向け、たくさん練習をされたのが伝わりました。1年生に至っては、1年前には触ったこともない楽器を今や使いこなし、演奏できるようになっており、先生方のご指導も保護者の方の協力もあったのではないかと思います。最後に、プロの演奏家の方々と一緒に子どもたちも入り、演奏させていただき、子どもたちの顔が凛々しく、清々しく見えました。

4月13日は初任者研修の開講式に行かせていただき、教育長のお話でもありました、1年目はがむしゃらに過ぎてしまい、その時にしっかりメモをとっていればよかったと言われた時にメモをとられ、しっかり教育長の教えを聞かれた初任者の先生方は後になり、ふと感謝の気持ちでいっぱいになると思います。教師として聞く姿勢、常に先輩先生方からの助言を聞く姿勢が大切だと思います。1年目の先生も10年目の先生も、子どもたち、保護者から見れば1人の先生なのです。1年目の先生は自分を信じて、子どもたちの一人一人と全力で向き合ってほしいと感じました。

以上です。

○奈良教育長 ありがとうございます。

谷元委員、お願いします。

○谷元委員 私は昨年9月に教育委員に就任しまして、半年が経ちました。平成29年度が新体制で始まりましたので、よろしくお願ひしたいと思います。

3月は藤阪小学校、それから第一中学校の卒業式、津田幼稚園の卒園式に出席しました。厳粛な中で式が行われ、小学校、中学校とも、児童・生徒の歌が非常に上手で、二部合唱のハーモニーがとてもきれいでよかったです。指導された先生の指導力に感心しました。幼稚園の園児は明るく元気な歌声と同時に、気持ちのこもった歌がとてもよかったです。校長先生や園長先生の式辞も子どもたちの心に残り、感銘を受けました。

入学式では、桜丘北小学校、楠葉西中学校、高陵幼稚園に出席しました。それぞれの学校園が特色を出し、良かったと感じました。

中学校の入学式では、生徒会代表の生徒が歓迎の言葉を述べたのですが、途中でワイヤレスのマイクが切れてしまうハプニングが起きてしまいました。大人でも緊張する式の途中、先生に助けを求めてもおかしくない場面でした。しかし、代表の生徒は動じることなく、落ちついて、マイクなしで会場全体に届く大きな声で堂々と歓迎の言葉を述べました。式終了後の来賓控室ではそのことが話題になり、来賓の皆さんがとても感心されていました。中学生ともなると、ここまでできるようになるんだなど、本当に感心しました。

幼稚園の入園式では、園長先生のお祝いの言葉が園児を引きつけました。園長先生のお話は、掲示物の中からひよこさんやうさぎさん、くまさんを取り出し、ペープサートで園児に語りかけました。それは入園児を祝う初めての授業のようでした。緊張からか、今にも泣き出しそうだった園児も、園長先生のお話を聞くことができ、見ている私も心が温かくなり、素晴らしい入園式

になったと思います。

3月20日は、平成28年度枚方市子ども夢基金活用事業の、先ほど橋野委員も言われました、音楽で夢と未来をつくる合同演奏会に出席しました。この事業は、中学生がプロの演奏家から指導を受け、合奏をともにすることで、音楽活動をする魅力を感じとり、夢を持つエネルギーとし、自分の将来を開く機会を提供することを目的としています。枚方市立の16中学校が出演しました。ブラスバンド部員が少ない中学校もありましたが、様々な楽器を演奏し、合奏する中学生の姿はとても素晴らしく、演奏ごとに大きな拍手が沸き上がっていました。演奏する中学生と観客が一つになり、手拍子でリズムをとり、音楽を楽しむ有意義な時間になりました。日頃の練習の成果を発揮しようと、一生懸命に演奏する中学生の姿はとても真剣で素晴らしく、指導された先生の熱意をうかがい知ることができました。見に来られていた保護者の方々もとても喜んでおられたようでよかったです。伝統のある中学校では、毎年各学校で定期演奏会も開かれているようですが、このような大舞台で演奏する機会はとても大切なことであると思います。これからも長く、このような合同演奏会が開催されることを望みます。年度末の忙しい時期にも関わらず、開催していただき、ありがとうございました。関係者の方々お疲れさまでした。これからもよろしくお願いたします。

以上です。

○奈良教育長 ありがとうございました。

それでは、本日の公開とする協議会は以上となります。